日本職業リハビリテーション学会 研究倫理チェックリスト

	論文タイトル:						
主たる研究の方法: ロ 観察法 ロ 面接法 ロ 質問紙法 ロ 文献研究法 ロ その (インタゼュー)		他 ()	
	※人を対象とした研究の場合は記載すること						
	研究の対象者: (該当に図) □ 障害のある当事者 ロ 当事者の家族 ロ 現場の支援者 図 その他 ()	
	以下の項目について,投稿論文の主たる研究法に従い研究倫理チェックを申告してください 項目の該当がない場合には【該当なし】をチェックしてください。申告事項があれば備考に記		さい。				
I	研究協力・プライバシーの保護について	チェッ	ック項目(記	亥当に☑)	備考		
1	研究題目や調査票は,対象者の人権を侵害するような文言となっていない。	ロはい	ロ いいえ	□該当なし			
2	研究対象者,家族,地域,機関等が特定できないような配慮をした。	ロはい	ロ いいえ	□該当なし			
3	研究対象者及び家族への精神的苦痛がないような配慮をした。	□ はい	□ いいえ	□該当なし			
4	研究参加を本人の意志で決めることが難しい場合,家族の意見を聞く等,本人の最上の利益	□ はい	ロ いいえ	□該当なし			
5	(ベスト・インタレスト)を優先する配慮をした。 研究協力・参加者が被る身体的苦痛,不快,不自由,不利益,危険がある場合は,その可能性を	口 はい	ロ いいえ	□該当なし			
6	説明した。 研究協力・参加の依頼を断ることによる本人の不利益が生じない配慮をした。	口 はい	ロ いいえ	□該当なし			
7	研究協力の依頼文書には,研究目的,方法,予期される結果,研究の社会的意義,結果の公開	口 はい	ロ いいえ	□該当なし			
8	方法等がわかりやすく記載している。 研究協力の依頼文書には,プライバシーの保護,データの取り扱い等がわかりやすく記載している。	ロはい	ロ いいえ	□該当なし			
9	研究協力を強要するような形になっていない。	ロはい	ロ いいえ	□該当なし			
	調査票や面接の回答及び参加を拒否できる配慮をした。	口 はい	□ いいえ	□該当なし			
	データの取得対象からインフォームド・コンセントを得た	ロはい	ロ いいえ	□該当なし			
	同意書に、日付欄、当事者の署名欄、研究者の署名欄などを設けた。		ロ いいえ				
	研究協力・参加者からの質問が受けられるよう、連絡先を明記した。			□該当なし			
_	□ 研究の手続きについて		ック項目(記		備考		
	研究方法や研究手続きは、他の研究者が再現できるよう詳細に書かれている。			□該当なし	, UI C		
	研究結果やデータを都合よく勝手に操作・改纂していない。			□該当なし			
	望ましいデータを得るために、研究サンプルを故意的に誘導していない。			□該当なし			
	適正なサンプリング方法及び手順を明記した。			□該当なし			
	論文執筆・発表・データ管理・その他		ック項目(記				
1	他の文献による知見を,あたかも自説であるかのように表現していない。		ロいいえ	□該当なし	, un		
2	他の文献による知見を「」で引用した際、引用ページ数を明記した。		ロ いいえ	□該当なし			
3	長文引用、図表転載、調査票の使用について、原著者及び出版社からの承諾を得た。	ロはい	□ いいえ	□該当なし			
4	長文引用、図表転載、調査票の使用について、それらの出典は明記した。	ロはい	☑ いいえ	□該当なし			
5	複数の論文掲載誌に、内容が全く同じものを投稿しようとしていない。	口 はい	ロ いいえ	□該当なし			
6	複数の学会発表で、内容が全く同じものを発表しようとしていない。	□ はい	ロ いいえ	□該当なし			
7	研究協力の依頼文書, 調査票, データ, 分析結果等はきちんと保管している。	ロはい	ロ いいえ	口該当なし			
8	研究の制限について、公平かつ公正に明記した。	ロはい	ロ いいえ	口該当なし			
9	研究のための研究ではなく、社会的意義のある研究となっている。	ロはい	ロ いいえ	□該当なし			
10	業務上もしくは組織活動上,取得し得たデータを論文で使用する場合,当該組織からデータの使用許可を得ている	ロはい	ロ いいえ	□該当なし			
_	日本職業リハビリテーション学会学会誌へ投稿する上記論文の研究倫理について事実と相違がないことを申告します。						
		所属先:		で用いるデータの所	「属先となる機関名を記載すること		

年 月 日 氏名: (自署) __